

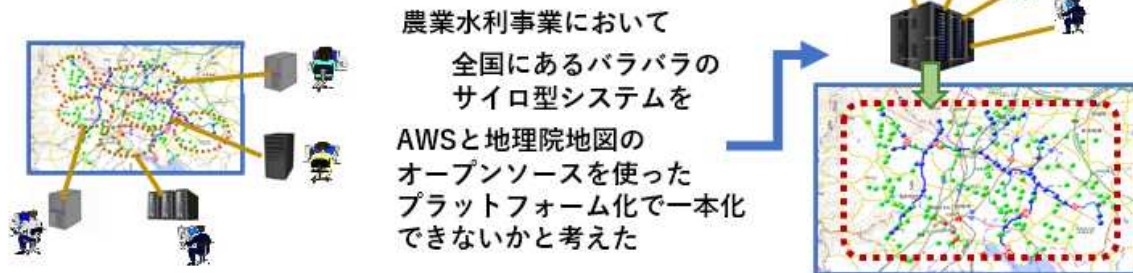
地理院地図を用いた公共系施設管理プラットフォーム創作と活用へ

AGRIGEO 金澤隆康

キーワード

地理院地図、公共施設管理、IoT、プラットフォーム、マルチステークホルダ

1・プラットフォームを創る経緯



2・プラットフォームを創ってみた



3・更なるプラットフォームの機能強化と実現へ

地図からの異なるユーザと業務の連携性とIoT管理運用機能を強化する
新しい技術やモデルを提供するサービスが増えシナジのパターンが増えた

4・コンポーネントの強化と追加

IOTやマルチステークホルダ、地図からのマルチJOB、業務連携を可能にするため
機能やコンポーネントの強化を図る。サンプルを想定し、実現の強化すべき機能を企画。

国県自治体などのIoT設備の連携と統合
ドローン情報等、異なる機関との共有化
機材等シェアリングシステムと情報取得
管理と利用主権の異なる水門などの運用
老朽化施設の事故から工事履歴までの管理

実現のための
それぞれの
コンポーネント
強化と機能追加

ユーザ管理関係
各処理メニュー
レイヤ関連
プログラム管理とJOB構成
データ管理関係

5・日本はあまりにもプラットフォーム型サービスが少ない

殆どのユーザが新しい最新の技術やテクニカルなモデル(AI,VR,メタバース,ブロックチェーン)などに目を奪われてはいますが、しかし日本はまだ基本的な部分で世界から大きく引き離されています。基本的なデジタル技術の有効活用手法をユーザが気が付いていないからだと思います。もう一度、Web地図の利点や、クラウドプラットフォームが一体何なのかDXとは何かなのかをよく理解しデジタル化技術の原点をよく考えてもらいたいです。本件の発表で日本は何が遅れているのか少しでも気づいてもらえれば幸いです。